モリタ株式会社
http://www.hakop.jp/

所在地／札幌市白石区中央2条3丁目2番17号
TEL／011-831-1151　FAX／011-812-2020
代表者／代表取締役社長　守田敏治
設立／昭和7年5月15日　従業員数／26名

昭和7年創業、紙箱、ギフトボックスなどの製造・販売会社

札幌のデパートでつかう紙箱をつくるところからスタートした昭和7年創業の老舗。贈答品、ギフトボックス、食品などの紙箱を製造・販売を行っている。顧客ニーズに合わせてデザインを意識した提案や環境配慮にも力を入れている。

▲紙箱のメモパッド

▲閉じたり開いたりしてペン立てや小物入れになる
紙製収納箱「ミニマムスペース」

▲ミニマムスペースは5つのデザインバリエーションがある。
これは計器をモチーフにした「インスツルメント」

客観的見方ができるようになりました。

モリタ株式会社　常務取締役　パッケージングディレクター
近藤　篤祐

今回の支援で、プロのプロダクトデザイナーからのメンタリングで考え方を表現することが理解でき、客観的な見方ができるようになりました。今後は自社技術をいかしたワークショップや知的な分野での取り組みも検討しています。

Vカット加工という製法技術を活かしたデザイン性に優れた紙の雑貨～生活雑貨、収納雑貨の新商品開発～

プロダクトデザインの考え方を取り入れた新商品開発。

モリタ株式会社は、ギフトボックス、食品などの紙器＝紙箱を製造・販売をしている。紙箱には折り箱、組立箱、貼箱などさまざまな種類があるが、今回同社が取り組んだのは「Vカット」という木箱と同じような加工方法で組み立てる紙箱で、牛乳パックのリサイクル再生紙を使用している。全国でVカット加工をしている企業は他にもあるが、いま現在、関東以北でこの製法を使っているのは殆どない。そのVカット加工で誕生したのが、紙製収納箱「ミニマムスペース」である。

昭和7年創業の老舗ならではのノウハウは活かしつつ、「他ではできないものづくりをしよう」とデザインを意識したものに積極的に取り組んできた結果、札幌で活躍するデザイナーたちとの取り組みが増えた。しかし「グラフィックデザイナーはいるが、プロダクトデザイナーが少ない」と感じた同社は、今回の支援で、第一線で活躍するプロダクトデザイナーから知識、発想などのレクチャーを受けることにした。0から1を生み出すための考え方を理解し、さまざまな試作品をつくる中、製品化できるのでは?というものが生まれ、それは「紙箱メモパッド」として東京銀座の有名文房具店で販売されることになった。

「紙である必要があるのか?」という壁。

Vカット加工の紙製品をつくる中、「紙は耐久性が弱く、汚れやすい。果たして紙である必要があるのか?」という壁にぶちあたった。プロダクトデザインとして伝わり切れていないのでは?納得して自信を持って言える商品とは何だろうと悩んだそうだ。しかし、紙なのだから壊れてもいい、プラスチックを使わないエコ商品、紙はいくらでもデザインが変えられると、思考方法が変わってきたという。